様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	阪奈中央リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人栗岡学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	255 時間	240 時間	
	作業療法学科	夜・通信	255 時間	240 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

www.hanna-reha.ac.jp/johokokai.html　にて公表

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	阪奈中央リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人栗岡学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

www.kuriokagakuen.ac.jp/johokokai.html　にて公表

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	歯科医院院長 （1998.4.1～）	2020.2.1～ 2026.7.14	民間の視点からの適正な学校運営の指導・助言
非常勤	介護老人福祉施設事務長 （2003.9.1～）	2020.2.1～ 2026.7.14	民間の視点からの適正な学校運営の指導・助言
（備考）			

様式第２号の２－②【⑵-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第２号の２－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

１．大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

２．外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
（備考）		

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	阪奈中央リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人栗岡学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

１．教員授業担当科目
　新年度のシラバスデータに各授業担当教員が直接アクセスし、新年度シラバスの授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項確認および加筆・訂正を直接行う。
２．外来講師担当科目
　郵送またはメールによって新年度シラバスの授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項内容の確認を行う。
３．学内にて最終確認を行う。
４．新年度開始時期に、印刷した新年度のシラバスを学生に配布する。

また、学校ホームページにて公開を行う。

授業計画書の公表方法	

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

授業科目の学習成果の評価及び単位の認定は次の学則第 23 条に基づき、筆記試験、実技試験、レポートを主軸に置き科目ごとに客観的な基準を設け判定している。

1. 授業科目の評価は、試験・出席状況・学習状況・学習報告等によって行う。
2. 授業科目については、随時試験を行い履修の認定を行う。
3. 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができなかった者又は不合格の者については、追試験又は再試験及び再実習を行うことができる。
4. 出席時間数が授業時間数の 3 分の 2 に達しない者は、科目についての評価を受ける資格を失う。ただし、臨床実習については、規定時間の履修を原則とする。
5. 臨床実習の評価は、実習内容・実習記録等によって行う。
6. 臨床実習の履修の認定は、実習終了後に行う。

評価は 100 点を満点とし 60 点以上を合格とする。合格した者には単位の認定を行う。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

成績評価の方法は学則細則第３条　３項に基づき、90 点以上を「秀」、80 点以上 90 点未満を「優」、70 点以上 80 点未満を「良」、60 点以上 70 点未満を「可」、60 点未満を「不可」と判定している。

さらに公平性と透明性を確保し統一した基準で、かつ国際的に通用する基準であり、各学生の授業に対する習熟度を測ることにより、効果的な学習指導に役立てることを目的にＧＰＡ（Grade Point Average）制度を採用している。この制度では、各評価に対し、秀=4.0、優=3.0、良=2.0、可=1.0、不可=0.0 のＧＰ（Grade Point）を付与し、次のとおり平均点（ＧＰＡ）を算出している。

１．ＧＰＡ成績評価について

標語	ＧＰ	素点	
秀	4.0	100 点～90 点以上	合　格
優	3.0	90 点未満～80 点以上	
良	2.0	80 点未満～70 点以上	
可	1.0	70 点未満～60 点以上	
不可	0.0	60 点未満	不合格

２．ＧＰＡの算出方法

$$\frac{〔秀〕修得単位数\times4+〔優〕修得単位数\times3+〔良〕修得単位数\times2+〔可〕修得単位数\times1}{総履修単位数}$$

※単位認定は算出の対象としない。
※少数点第３位を四捨五入し、小数点第２位までの数字で成績表に記載する。

【単位の計算方法】学則第 21 条による
1 単位の授業科目を 45 時間の学習を必要とする内容をもって構成し、次の基準により計算するものとする。
1 単位：15～30 時間（講義・演習）、30～45 時間（実験・実習・実技）
45 時間（臨床実習）

客観的な指標の算出方法の公表方法	www.hanna-reha.ac.jp/johokokai.html にて公表

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

・理学療法士法及び作業療法士法ならびに理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則を遵守し、以下の教育課程における単位を取得した者に対して卒業を認定する。

【学則　第五章 第 25 条】医療専門課程における卒業の認定は次のとおりとする。

①学校長は、所定の科目の単位認定を受けた者について、運営会議の議を経て卒業の認定を行う。

②卒業の認定を受けた者には、文部科学大臣による告示により専門士（医療専門課程）の称号を付与する。

③学科長は、卒業を認定したものに対し本校所定の卒業証書を授与する。

④本校を卒業した者には、次の国家試験受験資格が与えられる。

理学療法学科：理学療法士国家試験受験資格
作業療法学科：作業療法士国家試験受験資格

【細則　医療専門課程　教育課程の履修、評価および卒業の要件】（卒業の要件）

第 13 条　　次の卒業に必要な単位を修得すれば卒業を認める。

1）理学療法学科

分野	単位
基礎分野	14
専門基礎分野	33
専門分野	72
合計	119

2）作業療法学科

分野	旧単位	新単位
基礎分野	14	14
専門基礎分野	36	36
専門分野	70	69
合計	120	119

※旧単位…2022 年以前入学者
新単位…2023 年以降入学者

【単位の計算方法】学則第 21 条による

1 単位の授業科目を 45 時間の学習を必要とする内容をもって構成し、次の基準により計算するものとする。

1 単位：15～30 時間（講義・演習）、30～45 時間（実験・実習・実技）、
45 時間（臨床実習）

卒業の認定に関する方針の公表方法	www.hanna-reha.ac.jp/johokokai.html にて公表

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	阪奈中央リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人栗岡学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	www.kuriokagakuen.ac.jp/johokokai.html　にて公表
収支計算書又は損益計算書	www.kuriokagakuen.ac.jp/johokokai.html　にて公表
財産目録	www.kuriokagakuen.ac.jp/johokokai.html　にて公表
事業報告書	www.kuriokagakuen.ac.jp/johokokai.html　にて公表
監事による監査報告（書）	www.kuriokagakuen.ac.jp/johokokai.html　にて公表

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

【理学療法学科】

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門課程	理学療法学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3175 単位時間／単位	1635 単位時間/単位	880 単位時間/単位	660 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	88 人	0 人	6 人	84 人	90 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・教員による科目 旧年度シラバスの回覧または直接入力によって新年度シラバスの加筆･訂正等記入の確認を行う。 ・外来講師科目 郵送またはメール等によって新年度シラバスの確認を行う。 ・学内にて最終確認を行う。 ・新年度開始時期に、印刷したシラバスをオリエンテーションで学生に配布する。 ・学校 HP www.hanna-reha.ac.jp/johokokai.html にて公表
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価の方法は学則細則第 3 条 2 項に基づき、90 点以上を「秀」、80 点以上 90 点未満を「優」、70 点以上 80 点未満を「良」、60 点以上 70 点未満を「可」と判定している。 各学生の授業に対する習熟度を測ることにより、効果的な学習指導に役立てることを目的にＧＰＡ（Grade Point Average）制度を採用している。この制度では、各評価に対し、秀=4.0、優=3.0、良=2.0、可=1.0、不可=0.0 のＧＰ（Grade Point）を付与し、平均点（ＧＰＡ）を算出している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 理学療法士法及び作業療法士法ならびに理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則を遵守し、教育課程における単位を取得した者に対して卒業を認定する。
学修支援等
（概要） ※2021 年以前入学者 留年となり特別学費支援制度規定条件を満たした学生については、入学後 4 年目の年間納付金の半額（後期納付金相当分）を免除する。 ※2022 年以降入学者 留年となり特別学費支援制度規定条件を満たした学生については、同一年次 1 回に限り、後期納付金の納入を猶予及び免除する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26 人 （100%）	0 人 （0%）	22 人 （84.6%）	4 人 （15.4%）
（主な就職、業界等） 医療施設（病院等）			
（就職指導内容） ビジネスマナー研修の実施、希望者への模擬面接、履歴書の添削 教員による就職活動指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
91 人	6 人	6.6%
（中途退学の主な理由） 学業不振、進路変更、病気など		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・脱落者を出さないようにするため、カリキュラム外で少人数指導を行っている ・教員による本人との面談、保護者への電話連絡、保護者との面談など		

【作業療法学科】

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">医療</td><td>医療専門課程</td><td colspan="2">作業療法学科</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">3240
単位時間／単位</td><td>1740
単位時間
/単位</td><td>420
単位時間
/単位</td><td>1080
単位時間
/単位</td><td>0
単位時間
/単位</td><td>0
単位時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120 人	32 人	0 人	6 人	55 人	61 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

・教員による科目

旧年度シラバスの回覧または直接入力によって新年度シラバスの加筆･訂正等記入の確認を行う。

・外来講師科目

郵送またはメール等によって新年度シラバスの確認を行う。

・学内にて最終確認を行う。

・新年度開始時期に、印刷したシラバスをオリエンテーションで学生に配布する。

・学校 HP www.hanna-reha.ac.jp/johokokai.html にて公表

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価の方法は学則細則第 3 条 2 項に基づき、90 点以上を「秀」、80 点以上 90 点未満を「優」、70 点以上 80 点未満を「良」、60 点以上 70 点未満を「可」と判定している。

各学生の授業に対する習熟度を測ることにより､効果的な学習指導に役立てることを目的にＧＰＡ（Grade Point Average）制度を採用している。この制度では、各評価に対し、秀=4.0、優=3.0、良=2.0、可=1.0、不可=0.0 のＧＰ（Grade Point）を付与し、平均点（ＧＰＡ）を算出している。

卒業・進級の認定基準

（概要）

理学療法士法及び作業療法士法ならびに理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則を遵守し、教育課程における単位を取得した者に対して卒業を認定する。

学修支援等

（概要）

※2021 年以前入学者

留年となり特別学費支援制度規定条件を満たした学生については、入学後 4 年目の年間納付金の半額（後期納付金相当分）を免除する。

※2022 年以降入学者

留年となり特別学費支援制度規定条件を満たした学生については、同一年次 1 回に限り、後期納付金の納入を猶予及び免除する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14 人 （100%）	0 人 （0%）	7 人 （50.0%）	7 人 （50.0%）
（主な就職、業界等） 医療施設（病院等）			
（就職指導内容） ビジネスマナー研修の実施、希望者への模擬面接、履歴書の添削 教員による就職活動指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41 人	4 人	9.8%
（中途退学の主な理由） 学業不振、進路変更、家庭の事情など		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・脱落者を出さないようにするため、カリキュラム外で少人数指導を行っている ・教員による本人との面談、保護者への電話連絡、保護者との面談など		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
理学療法学科	300,000 円	760,000 円	540,000 円	
作業療法学科	300,000 円	760,000 円	540,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ホームページにて公開 www.hanna-reha.ac.jp/johokokai.html
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
自己評価結果の客観性・透明性を高めるため、学外関係者による「学校関係者評価委員会」を設置し、学校関係者評価を実施する。 ○主な評価項目：教育、施設、学生サービスなど ○評価委員の定数：5名以上 ○評価委員の選出区分：卒業生、企業関係者、高校関係者、地域住民、教育関連有識者など ○評価結果の活用方法：学校運営等の改善に活用する。評価結果ならびに改善策と実施の時期等についてはホームページで随時公表する。
学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
医療法人和幸会　阪奈中央病院	2021.1.1～2026.12.31	企業関係者
奈良県専修学校　各種学校連合会	2020.1.1～2026.12.31	教育関連有識者
学校法人興国学園　興国高等学校	2020.1.1～2026.12.31	高校関係者
医療法人和幸会　パークヒルズ田原苑	2020.1.1～2026.12.31	地域住民
医療法人和幸会　阪奈中央病院	2020.1.1～2026.12.31	企業関係者
医療法人和幸会　阪奈サナトリウム	2020.1.1～2026.12.31	卒業生
医療法人和幸会　阪奈中央病院	2020.1.1～2026.12.31	卒業生

学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ホームページにて公開 www.hanna-reha.ac.jp/johokokai.html
第三者による学校評価（任意記載事項）

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ホームページにて公開 www.hanna-reha.ac.jp/johokokai.html

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H127310001566
学校名（○○大学 等）	阪奈中央リハビリテーション専門学校
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人栗岡学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		14人	11人	14人
内訳	第Ⅰ区分	－人	－人	
	第Ⅱ区分	－人	－人	
	第Ⅲ区分	－人	－人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				14人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号、第４号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	0人	人	人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	0人	人	人
ＧＰＡ等が下位４分の１	0人	人	人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。